

長野県防災サポートアドバイザー(SA)派遣制度

異常な天然現象により公共土木施設が被災した際、建設事務所、砂防事務所、市町村からの要請に基づき、「防災サポートアドバイザー」を現地に派遣し、災害復旧活動をボランティアとして支援する制度で「長野県防災サポートアドバイザー協会」(事務局:(公財)長野県建設技術センター)が運営しています。

SAは長野県建設部(旧土木部)および(公財)長野県建設技術センターの土木技術者OB等、132名(H31.4.1現在)で構成され、平成24年6月15日に本協会、(公財)長野県建設技術センター、長野県の3者で協定が締結されました。

◆災害復旧支援活動

- 1、災害調査に関する支援(管理者と協働で実施)
- 2、復旧工法に関する技術的助言
 - 1, 2については原則、災害時の初動態勢における災害調査に関する支援
- 3、災害に関する自主通報
- 4、災害復旧技術の継承活動

★H24年度実績

諏訪建設事務所(7.29豪雨)で4人が支援活動を実施

★H25年度実績

大町建設事務所(6.19豪雨)、上田、佐久、伊那、飯田、北信建設時事務所(9.16台風18号)の6事務所で9日間、のべ18人が支援活動実施

★H26年度実績

北信建設事務所(4.1融雪)木曾建設事務所(7.9梅雨前線豪雨・台風8号<南木曾町土石流>)、大町・長野建設事務所、白馬小谷村(11.22神城断層地震)で10日間、のべ28人が支援活動を実施

★H29年度実績

長野建設事務所(8.11豪雨)でのべ2人が支援活動を実施

